

化石ハンター展のお話

9/25（日）に有志で国立科学博物館の「化石ハンター展」に行ってきました。

「化石ハンター」としてゴビ砂漠周辺の化石発掘に大きな功績を残したロイ・チャップマン・アンドリュースに関する展示会で、今年は彼の最初のゴビ砂漠探検の100周年にあたるそうです。

会場では、恐竜や大型哺乳類を中心としたゴビ砂漠・モンゴル産の化石と、そこから導かれる生物の放散（進化しながら各地にひろがっていくこと）についての学説について、興味深い展示が並んでいました。

9時集合で、入館まで10分程度。ティープロ生（3～5年生）は10名ほどが参加してくれました。前に100人ほど並んでいる状態で入館し、入口付近は多少混雑していましたが、各展示を見るのに待たなければいけない、というほどではなく、順調に見ていくことができましたと思います。全体で3時間程度の観覧でした。



「化石ハンター展」図録の表紙

各展示については、あん Do の知識の範囲で（学名の見方や恐竜類の大分類、鳥類への進化などについて）解説をしたり、見どころを伝えたりしながら見てきましたが、化石標本に関しては貴重なものが多く、レプリカの展示が多かったため、本物かどうかのほうに気になってしまった人も多かったようですね。

その他、古生物の研究手法についてもわかりやすく解説されていて、後に続く化石ハンターの卵への期待もこもっているように感じました。今回の有志の中から、古生物研究の道に進む人は出るのでしょうか……

各解説をじっくり見ながらの^{かんらん}観覧ということもあり、低学年の生徒にはちょっと長く感じられたかもしれません。しかし、せっかく入館料を払っているのですから、できる限り学びにつながると良いな、と思います。

科学博物館の特別展に関しては、各特別展について少なくとも1回は、あんDoが見に行く日を理科 Basic、理社探検隊、国社理くらぶでアナウンスしていきます。次回は「毒」展だそうです。今回来ていた方々はそちらも興味津々のようでしたね。専門に進んだOBの先輩方が参加してくれれば、あんDoよりも詳しい説明が聞けるチャンスもあるかもしれませんよ。楽しみにしてください。

22/9/28 あんDo



次の特別展「毒」のメインビジュアル

※化石ハンター展は10/10(月・祝)まで開催中です。興味がある、という方は、下のHPから日時予約、チケット購入が可能です。予約なしでは入館できませんので、ご注意ください。

<https://kaseki.exhn.jp/>